

『きりんのうた』 え／ひだの かな代

・動物園に、戦争が起こっている国から、きりんさんの親子がやってくることになりました。園長さんは、きりんさんのためにバイオリンで歌を作って…。『きりんのうた』の楽譜、曲と読み聞かせ音声が見れるQRコード付き。
(幼0～5歳)



『ノラネコぐんだんピザをやく』 工藤 ノリコ

・ここはワンワンちゃんのピザの店。ワンワンちゃんの配達中に、店に入り込んでピザづくりに励むノラネコぐんだん。一方、ワンワンちゃんがピザを配達したお客さんの正体は… (幼0～5歳)



『ふしぎなはこ』 パオロ・プロイエッティ／え

・森のまんなかに箱がひとつ。どうぶつたちは箱のなかにいる“だれかさん”に出ておいでと呼びかけますが…。はすかしがりやの“だれかさん”は、ともだちのやさしさにこたえてくれるでしょうか。(幼0～5歳)



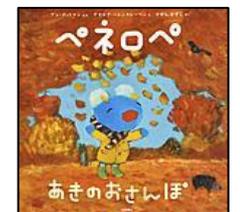
『おすよおすよ』 よしだ るみ／さく

・たからものをいっぱい入れた箱を押して歩くクマくん。道の向こう側から、同じように箱を押している女の子のクマがやってきました。お互いに道を譲らず、両方から無理やり箱を押したら…。日英バイリンガル絵本。
(幼0～5歳)



『ミーコ』 長谷川 義史

・ぼくのうちで、猫を飼うことになった。名前は「ミーコ」。かわいらしい猫だけど、ほかの猫とちょっとちがって…。ちいさな生きものとの出会い、そして別れを描いた、著者の自伝的絵本。(幼0～5歳)



『ペネロペ あきのおさんぽ』 ゲオルグ・ハレンスレーベン／え

・わたしペネロペ。今日はママのお誕生日。プレゼントのお花を摘みに、秋の野原に出かけたよ。だけど、お花はもう枯れていて…。さあ、本を開いて。ペネロペが待っているよ。(幼0～5歳)



『ワニくんがやってきた!』 飯野 和好／翻案・絵

・まことくんの園にやってきた、食いしん坊のワニくんは、やさしくて、ちょっぴりドジで、泣き虫。まことくんになつくのだけど、それには不思議なわけがあって…。(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『いかあげたこあげ』 絵／高島 純

・イカがたこあげをしていたら、タコに「そのイカ、たこあげするな」と怒られました。イカが「これは、いかあげですよ」と答えると…。イカとタコの「たこ」をめぐるナンセンスな会話劇。(幼3～5歳)



『あ、あな!』 チョーヒカル

・リンゴのあな、かべのあな、耳のあな。のぞいてみたら、思わぬ景色が。しかも、あなの中に引っ張りこまれて…。目に見えている世界を疑い、自由に想像をめぐらせる力を育む絵本。(幼3～5歳)



『こいぬのがっこう』 きたむら さとし

・ルーシーが学校へいっているあいだ、いぬのぼくはお留守番。でも今日、初めてこいぬの学校にいったんだ。からだの搔きかた、あいさつのしかた…。たくさん習ってたくさん覚えたそのあとにハラハラドキドキの冒険が待っていた!(幼3～5歳)



『ともだち』 ベンジー・デイヴィス／絵

・ぼくとエトは、大のなかよし。丘の上で段ボール箱の中に入って遊ぶ。ある日、知らない男の子が仲間に入れてほしいとやってきた。エトは「いいよ!」と言ったけど…。新しい友達が現れ、揺れる「ぼく」の気持ちを描いた物語。(幼3～5歳)



『ライオンのくにのネズミ』 さかとく み雪

・ライオンのくにに引っ越したネズミの家族。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らは、お互いにわかりあうことができるのか? 「優しさと勇気」についての絵本としても、「国際理解教育」の教材としても読める一冊。(幼0～5歳、小初)



『おせち』 文・絵／内田 有美

・黒豆、数の子、なます、昆布巻き、伊達巻、松風焼き…。日本の伝統食であるおせち料理を紹介しながら、そこに込められた願いをリズムカルなことばで伝えます。(幼3～5歳、小初)



『はじめまして、サンタさん』 ジャーヴィス／作

・サンタさんがわたしのおうちにきた。お手紙読んでくれたの? サンタさんは、わたしのおじいさんよりおじいさん? あのね、おねがい。いっしょに、サンタさんのおうち、行ける? クリスマスの絵本。(幼3～5歳、小初)



『おおきなムクムク』 マルタ・アルテス／さく

・ひとりぼっちで家もない、大きな白い犬のムクムクは、初めての町と初めての暮らしと初めての人たちにわくわくしています。だけど、時には自分だけがみんなと違うような気がして…。思いやりと友情をめぐるあたたかな物語。(幼3～5歳、小初)